



自ら新年度の活動計画を作成しました

1年間の活動を振り返る

3月21日、川崎村子ども会育成会連合会(佐藤益男会長)などが主催する子ども会リーダー研修会が、川崎公民館で開催されました。

子ども会活動紹介では、外山東部、柳沢、千手堂、針山の各子ども会が、スライドを使ってキャンプや農作物栽培、花壇作りなどの1年間の活動を発表しました。その後、子ども会連合会総会では、子どもたち自ら新年度の活動計画を作成。また新たな活動が始まります。

育成会の父母たちは、藤原征博川崎駐在所長から「子どもを危険から守るには」と題した防犯の講話を聞き、安全の確保について学びました。



鴨地婦人部から愛の鈴が贈られました

交通安全を願い 「愛の鈴」を寄贈

3月15日、鴨地婦人部(三浦祥子部長、部員50人)が、川崎支所を訪れ、千葉地域自治区長に「愛の鈴」を手渡しました。

今年で26年目となる「愛の鈴」は、イチゴのデザインでへたの部分に鈴がセットになっており、新入学児童の交通安全を願って、婦人部員が手分けして作ったものです。三浦部長は「交通安全を願い作りました。子どもたちに渡してください」と、薄衣小、門崎小の新入学児童分48個の「愛の鈴」を託し、入学式で両小児童に贈られました。



AEDの講習を受けるボランティア会員

AEDの操作を研修

3月26日、川崎村社会福祉協議会(瀬上祐子会長)は、移送サービスボランティア研修会を開催しました。

研修会では、両磐地区消防組合千厩消防署川崎分署の千葉、菊池両救急救命士が講師となり、AED(自動対外式除細動器)を使った心肺蘇生法などを学習しました。

実際にAEDの操作を体験したボランティア会員は、初めての操作に戸惑いながらも講師の指導の下、一つ一つ手順を確認し真剣に取り組んでいました。



大人用と子ども用のはんてんなどを整備

コミュニティ助成で はんてんなどを整備

みこしを通した地域連携意識の向上と青少年の健全育成を目的に活動している神輿諏訪川崎会(三浦正毅会頭、会員53人)では、このたび、(財)自治総合センターの助成を受けて、はんてんなどを整備しました。

はんてんは、貸し出し用にと大人用80着と子ども用25着を購入。町内や他地域での活動で活用されます。また、ちょうちんやテントなども併せて整備し、会員の皆さんはさらなる活動の推進を誓っていました。

全国小学生ソフトテニス大会に12人の選手が出場



大会出場の報告に訪れた選手たち

3月22日、全国小学生ソフトテニス大会に出場する選手が浅井市長を訪れ、出場を報告しました。

訪れたのは、ダブルス男子・女子の5年生の部と4年生以下の部に出場する選手たち12人で、それぞれ一関ソフトテニススポーツ少年団と一関滝沢ソフトテニススポーツ少年団に所属しています。

選手を代表して、一関スポ少の伊藤健人君、佐藤駿君、山田朋夏^{ともか}さん、千葉優美さんと、一関滝沢スポ少の及川侑将君、松本尚也君が「練習の成果を発揮できるよう、力を合わせて頑張ります」とあいさつし、浅井市長から励ましの言葉を受けました。

新鮮な農産物を取り揃え日曜朝市今年もオープン

今年で21回を数える恒例の日曜朝市が4月2日、一関文化センター西側広場を会場に始まりました。

新鮮な野菜や果物、花きなどが並ぶ会場には、まだ薄暗い午前5時のオープンから大勢の市民が訪れ、出店者と盛んにやりとりしながらお目当ての品を買い求めていました。

朝市は、産業まつり農業祭当日を除く、4月から12月までの毎週日曜日に行われます。



早朝から多くの客でにぎわった朝市

紙ひも使いギネスに挑戦

紙ひもを使ったギネスブックへの世界記録登録を目指したギネスワールドレコーズキャンペーンは3月25日、一関サティ駐車場で開かれました。参加者は一人分約5キログラムの古新聞を紙ひもで縛り上げ、854人が延べ2562本の紙ひもで重さ約4.2トンの古新聞を縛り上げた記録されました。

同キャンペーンは北上製紙株が紙ひもの活用によるリサイクル社会の推進を目指し企画。同社では4月中に記録認定をギネス社に提案するそうです。



世界新記録を目指し古新聞を束ねていく参加者

なくそう！放置自転車

撤去処分自転車の公売が3月24日、市役所本庁で行われました。公売は、市自転車等放置防止条例で指定した放置禁止区域内に放置され、引き取り期限内に持ち主が現れなかった自転車で、再生可能なものが対象。市民らおよそ50人が参加する中1台1台競りにかけられ、用意された自転車25台すべてが売却されました。

17年度に撤去された放置自転車は200台以上となっています。みんなの迷惑となる自転車の放置は絶対にやめましょう。



つぎつぎと競売にかけられる放置自転車